（別紙様式）　　（Ａ３判横）

令和３年度　学校自己評価システムシート（県立所沢中央高等学校）

目指す学校像	節度ある生活、考える授業、達成感の持てる部活動を通じて希望の進路をかなえる学校

重点目標	
	１　規律ある生活態度と自主的に行動する姿勢を養う。 ２　自ら学び考える環境を整え、希望の進路の実現を図る。 ３　保護者・地域との連携のもと、積極的な活動を促す。

達成度		
	A	ほぼ達成（８割以上）
	B	概ね達成（６割以上）
	C	変化の兆し（４割以上）
	D	不十分（４割未満）

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	１５名
	生徒	１０名
	事務局(教職員)	６名

＊新型コロナウィルス感染症拡大防止により評価懇話会は実施せず、学校評議会のみ実施。

※　重点目標は３つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。
※　番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学校自己評価								学校関係者評価
年度目標					年度評価（１月２０日現在）			実施日　令和４年２月５日
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校関係者からの意見・要望・評価等
1	○コミュニケーション能力の向上と生活規律を身に付けることを積極的に促す。交通ルール、マナーへの理解、日々の挨拶、遅刻件数の減少等は継続した努力が求められる。	○基本的生活習慣を身につけさせ、規範意識を向上させる。	①生徒指導部を中心とし、全教職員で統一した指導の取り組みを進める。 ②全教職員で情報を迅速に共有し、必要に応じて外部機関との連携を図る。	①社会状況に応じた指導内容を適宜見直し、全教職員で共有できたか。 ②地域の方等の意見に真摯且つ適切な対応をし、良好な関係を築けたか。	①指導内容に関わる課題に対して、部内での情報共有を迅速かつ細めに行い、それを各学年などに周知することができた。 ②地域からの苦情は引き続き減少傾向である。	A	来年度も、部会や各学年会議などを通じて、生徒にかかわる情報の共有をすすめ、早めの対応を行っていきたい。校外でのマナーについての指導も継続しすすめていく。	コロナ禍においても様々な学校行事を実施してくれて、今まで通りとはいかないが、子供たちの不満も減って助かっている。先生方の労苦がしのばれる。 オンライン授業などを活用し、授業の遅れを最小限にする努力がありがたい。 地域からの苦情が減少しているので、指導の成果が表れていると思う。地域との連携をより深めていってほしい。 生徒の元気な挨拶が心地よい。学校の良い雰囲気がうかがわれる。 成人年齢引き下げが迫るため、規範意識・自己管理能力の向上に引き続き努めていただきたい。
	○感染症対策により、行事の内容の変更、規模の縮小をせざるを得ない状況ではあるが、生徒会本部を中心に運営、情報発信が活発に行われている。引き続き対策をしつつ、学校全体の活性化を継続して図っていきたい。	○感染症防止対策に即した行事の企画、運営を行う。新たにライブ配信や映像等を活用し、生徒の希望を汲みつつ行事への参加意識、積極性を引き出す内容とする。	①生徒会本部と各委員会が円滑に連携し、行事に関する情報を発信する。 ②活動を映像等で記録し、全教職員の意見も参考に課題や改善点を見出す。その総括を生徒会中心に以後活用する。	①検討を重ね企画運営した行事に対し生徒一人一人が参加意識、達成感を持つことが出来たか。 ②現状に対応しつつ、過去の課題や問題点を改善しより良い運営を行うことができたか。	①緊急事態宣言で、文化祭が延期となったが、生徒が委員会や係の仕事に取組み全生徒が参加する形で無事運営できた。 ②感染症予防対策を念頭に行事企画運営を行い、行事後にアンケートを行った。	A	引き続き、感染拡大防止対策をとりながら、従来の行事運営ができるまで、ライブ配信や映像を活用し全生徒が参加する形での行事を踏襲していく。	
2	○自主的な家庭学習時間が不足している。 ○自己の進路に対する早期の意識付けは定着しつつある一方、進路実現に向けた積極的・主体的取組みが不十分である。	○授業や課題等を通じて、自ら課題解決に向かう力を身につけさせ、内容理解・学習意欲の向上を図る。 ○保護者と連携し積極性・自主性を促す進路活動により、生徒の進路意識を更に高める。	①教科指導法や課題内容の工夫を図る。 ②学習への支援を行う。また、進路指導ボランティアも積極的に活用していく。 ③実力テストや各分野の説明会を通し学習活動の充実と現状認識の向上を図る。 ④保護者へ進路の状況を進路だよりや各種冊子を活用することで情報を共有する。	①週末課題への取り組みと家庭学習時間は向上したか。 ②生徒のニーズを把握し適切な支援ができたか。また進路指導ボランティアは有効に活用できたか。 ③説明会が適切に実施されたか。実力テストの結果を進路実現に反映できたか。 ④保護者への情報発信の機会と内容は適切だったか。	①家庭学習時間が昨年より伸び補習参加者も増加した。 ②ボランティアの大きな活躍もあり，生徒の希望に適切に応えられた。 ③時期に応じて適切に説明会や実力テストを実施し，進路指導に役立てられた。 ④年度内で２回，保護者向けのガイダンスを行い，好評を得られた。	A	週末課題や基礎学力サポートにより自主的な学習環境を整えた。また学校推薦型選抜を希望する生徒の増加に伴い面接・小論文の個別指導が重要でありボランティアの協力は有益であった。以後継続していきたい。また、保護者向けに学費や奨学金等の説明会を開き保護者の進路意識を高められた。	家庭学習時間の増加は、とても良いことと考えている。今後、学習の質の向上も必要かと思われる。 保護者向けの進路説明会（ガイダンス）が有り難かった。進学資金に関する話や、保護者としての進学への心構えなど、わが子に即した話ばかりでとても有益であった。ぜひ来年度も継続して開催してほしい。 植栽活動はたいへん評価できる。学校の雰囲気の良さをここでも感じる。生徒の主体的な活動をこれからも期待したい。 コロナ禍とはいえ、生徒の貸出冊数の増加は驚きに値する。授業での図書館の活用など生徒への有用性が浸透したものと理解している。
	○美化委員会を中心とする活動は主体的かつ計画的に運営されている。今後も校内の美化･緑化を中心に生徒各自が自主的に生活環境を整備する意識を向上させたい。 ○授業で図書館活用の機会が増えている。これに応える資料と、生徒の読書意欲の向上や、教科学習・進路に役立つ蔵書づくりを両立させたい。	○主体的に緑化及び美化に関わる意識を向上させる。 ○感染防止対策に即した美化活動を生徒に意識付ける ○館内資料を充実させ、読書意欲向上や学習に役立つ環境を整える。	①春秋の除草作業を含め植栽活動を美化委員中心に計画的に実施する。 ②美化委員を中心にゴミの分別、食べ・飲み歩き禁止をポスター掲示等で呼びかける。 ③適切な選書と除籍を行いつつ、アンケート等で選書に利用者の声を反映させる。	①効率よい植栽活動の為に適切な準備ができ積極的に参加したか。 ②感染防止に即しゴミの分別処理等の美化活動が、適切に運営できたか。 ③利用者・授業者の希望に応える資料が用意できたか。	①植栽活動による校内緑化が生徒の手により充実したものになった。 ②校内美化の意識が向上した。美化委員の生徒による主体的な緑化活動、清掃活動やごみの分別を計画的に実施することができた。 ③生徒の貸出利用冊数が昨年比で約 2200 冊増加した。	A	校内美化意識の向上の他、感染拡大防止対策の一環としてのペットボトルの水洗浄廃棄の徹底について、今後も継続的に呼びかけていく。 引き続き生徒・教職員のリクエストなどを反映させた選書を行っていく。	
3	○学校説明会やホームページを通して、本校の特徴や行事の魅力を伝えたい。 ○地元に密着した高校として保護者や地域から高く評価されている。ＰＴＡや地域の要望に応えながら協力関係を強めていきたい。	○本校の教育活動などについての発信を継続する。 ○社会情勢を考慮しながら、保護者への連絡を工夫する。	①教職員全体で情報発信する。 ②ホームページを活用した情報発信を継続する。 ③学校行事等の連絡が保護者に届くよう改善を図る。	①入学希望者数を高い水準で維持できたか。 ②年間を通じて、ホームページに新情報をアップできたか。 ③保護者への連絡が状況に応じて適切になされたか。	①入学希望者数を高い水準で維持できた。 ②年間を通じて、ホームページに新情報をアップできた。 ③行事の変更を文書にまとめて配布した。PTA 広報誌を 2 回発行した。	A	今年度は8月の学校説明会は中止、10 月のオープンスクールも学校説明会に切り替えざるを得なかった。次年度以降も、感染拡大状況を的確に捉えつつ、魅力を伝えたい。 保護者に対し学校メール等を活用した情報発信を進めていきたい。	地域との連携を深める取り組みを始めたことは、とても心強い。様々な行事日程（体育祭・文化祭・長距離走大会など）もホームページで確認できるとありがたい。また、進路ボランティアなど、宣伝できる活動を載せていってほしいし、保護者向けの発信も増やしていってほしい。